

報道関係者各位
2014年7月31日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK:945

『未来につなげる終身保険』を販売開始

～増やしてのこせる、払い込んだ保険料を上回る保障が一生続く一時払終身保険～

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO:ギャビン・ロビンソン、本社:東京都調布市、以下「マニユライフ生命」)は、2014年8月1日より、通貨選択型一時払終身保険(ペットネーム:『未来につなげる終身保険』)を株式会社三菱東京UFJ銀行(頭取:平野 信行)を通じて販売いたします。

『未来につなげる終身保険』は、少しでも多くの資産を安心してご家族にのこしたいというお客さまの相続ニーズにお応えするために開発した、一時払終身保険です。死亡・高度障害の場合にお支払いする保険金額は、払い込んだ保険料を契約時から上回ります。選択いただいた通貨に応じた積立利率で運用するため、魅力的な金利の通貨をお選びいただくことで、より高い死亡保障が得られます。既に外貨(4種類)をお持ちの方には、それを保険料のお払込みにご活用いただくこともできます。契約日の積立利率を終身にわたって適用し、死亡・高度障害の保険金額を一生保証する、シンプルで分かりやすい内容の商品です。

『未来につなげる終身保険』の特徴

1. のこすために活用できる保険

- 死亡・高度障害の場合のお支払いの基準となる基本保険金額*¹として、契約当初から一時払保険料を上回る金額が、一生にわたって保証されます。
- 終身にわたって契約日の積立利率*²が適用されます。
- 契約通貨は、米ドル、豪ドルまたは円のいずれかから選択できます。
- 契約通貨が米ドルまたは豪ドルの場合、保険料を多彩な通貨(米ドル、豪ドル、ユーロ、ニュージーランドドルの4種類の通貨)から選択してお払い込みいただけますので、既にお持ちの外貨をご活用いただけます。

2. 簡単な告知方法

- わかりやすい2段階の簡単な告知*³でお申し込みいただけます。

3. 健康相談等の付帯サービス

- マニユライフ生命の業務提携先であるティーベック株式会社が提供する付帯サービス『ところとからだの健康サポート メディカルリリーフ』*⁴をご利用いただけます。日常の病気やケガに対するご相談や、日本を代表する医師(総合相談医)によるセカンドオピニオンのサービスがご利用いただけます。

*1 一時払保険料や契約日の積立利率、被保険者の契約年齢および性別等に基づいて、マニユライフ生命の定める方法で計算されます。

*2 積立利率は、マニユライフ生命の定める所定の指標金利に基づき、原則として毎月2回(1日と16日)設定され、契約日に設定されている積立利率が終身にわたって適用されます。*3 告知項目にすべて当てはまらない場合でも、職業・体格等によっては、お引き受けできないことや特別な条件をつけてお引き受けすることがあります。基本保険金額と一時払保険料の差額が告知書扱の加入限度額を超える場合は、医師による診査や健康診断書のご提出および専用の告知書による告知が必要になります。

*4 ティーベック株式会社の主力サービスである「ドクターオブドクターズネットワーク」であり、マニユライフ生命では専用のサービス名称『ところとからだの健康サポート メディカルリリーフ』として提供しています。

マニユライフについて

マニユライフ生命は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。同グループは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供し、お客さまのご期待に応え続けています。同グループの職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフとその子会社の管理運用資産は、2014年3月31日現在およそ6,350億カナダドル(5,740億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフとして、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャル社についての詳細はウェブサイト(www.manulife.com)をご覧ください。